

簡易公募型プロポーザル方式における特定結果書

- | | |
|----------|----------------------|
| 1. 業 務 名 | 令和 6 年度大規模災害活動計画検討業務 |
| 2. 所 属 | 防災室 |
| 3. 方 式 | 簡易公募型プロポーザル方式 |
| 4. 選定通知日 | 令和 6 年 4 月 22 日 |
| 5. 公 示 日 | 令和 6 年 4 月 2 日 |
| 6. 特定通知日 | 令和 6 年 6 月 5 日 |

技術提案書提出者	特定の有無	特定されなかった理由
(株)建設技術研究所	×	評価項目のうち、「実施方針・実施フロー・工程計画・その他」、「評価テーマに対する技術提案」において、他者が優位であると判断したため
日本工営(株)	○	

評価表

1. 業 務 名 : 令和6年度大規模災害活動計画検討業務
2. 事 務 所 : 防災室
3. 方 式 : 簡易公募型プロポーザル方式
4. 技術提案書の提出要請日(又は指名通知日) : 令和6年4月22日
5. 特定通知日(又は入札日) : 令和6年6月5日

評価項目		評 価 の 着 目 点		項目別 配点	A社	日本工営(株)	所 見
技 術 者 評 価	管 理 技 術 者	技術者資格等、その専門分野の内容		3	3	3	
		平成26年度以降に完了した同種又は類似業務等の実績の有無		7	7	7	
		令和元年度から令和4年度までの業務成績		12	12	10.8	
		令和元年度から令和4年度までの技術者表彰の有無		2	1.2	0	
		建設系CPD協議会が運営するCPD取得状況		1	1	1	
小 計				25	24.2	21.8	
実施方針・実施フロー・工程計画・その他		業務の理解度	業務の目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する	8	5.9	8.0	
		実施手順	業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する	5	3.0	4.3	
			業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する	5	3.3	4.0	
		業務に関する知識、有益な代替案、重要事項	業務に関する知識、有益な代替案、重要事項の指摘がある場合に優位に評価する	5	3.0	3.7	
		計		23	15.2	20.0	
評 価 テ ー マ に対する 技術 提案	評 価 テ ー マ	的確性	地形、環境、地域特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する	14	14.0	14.0	
			着眼点、問題点、解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高いと見込まれる場合に優位に評価する	14	11.2	11.2	
		実現性	提案内容に説得力がある場合に優位に評価する	12	9.6	10.4	
			提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合に優位に評価する	12	7.2	9.6	
		計		52	42.0	45.2	
小 計				75	57.2	65.2	
合 計				100	81.4	87.0	

評価テーマ

能登半島地震の対応をふまえたTEC-FORCE活動計画類の見直しを行うにあたり課題抽出を行う上での留意点